



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

プロバスだより

2010年2月11日発行

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

第171号

編集・発行：情報委員会

2009～10年度テーマ

広げよう！プロバスクラブの楽しみの「環」

第 171 回例会・臨時総会

日 時：平成 21 年 1 月 14 日 16:00～18:00

場 所：八王子エルシィ

出席者： 51 名 出席率 83%

(会員総数 65 名、休会 4 名)

1. 宮城例会委員長の司会で開会

2. 下山会長挨拶



皆さん少し遅ればせながら、改めまして明けましておめでとうございます。皆さん夫々良いお年をおむかえになったと思います。

私のお正月には何となく、担ぐ癖というか、占うというかそんな事があって、元旦など早々に起こった事が良いことだったら一年良いこと続くかなとか、失敗したら今年もどじな年かなとか、何か忘れものや紛失したりするとついてない年だなとか、思ったりします。今年は暮れに孫のインフルエンザが治って、まあ平穏な年明けだったと感じました。新聞などでは如何でしょうか、やや小康状態の幕開けかと思ったら、そうではなくて、やはり激動の年でしょうか。

さて、いよいよ第 14 回生涯学習サロンの幕開けです。全員で成功させるよう頑張りましょう。又今年には 15 周年事業の年でもあります。今年も皆さんプロバスクラブライフを楽しみつつ、充実した年にしましょう。

堀口地域奉仕委員長がよんどころない事情で休会されます。そのため今日は特別に理事さんを一人補充選任して頂く必要が起こり臨時総会を開きます。又佐々木研修委員長のお骨折りで、石垣外務省参与のお話も聞きます。そして後半は懇親会でもありません。無駄な時間は無いよう、新年挨拶としては、これで終わりにさせていただきます。

なお後ほど報告がありますが、野末孝雄さんと石井實さんが健康上の理由で退会となります。お二方ともプロバスクラブのために長年貢献してこられたのに残念です。では例会を始めます。

3. 臨時総会

恒例により下山会長が議長に選出され、議長は書記に矢崎安弘会員、議事録署名人に八木啓充会員と阿部幸子会員を指名し、以下の議案を審議した。

議案 東京八王子プロバスクラブ 2009～2010 年度理事 1 名選任の件

議長は堀口理事（地域奉仕委員長）が休会することになり、地域奉仕委員長として理事 1 名を補充することを提案した。別紙のとおり理事候補者として土井俊雄（会員番号 99）の選任を諮った。挙手による採決を求めたところ、異議なく承認された。

土井地域奉仕新委員長就任の挨拶



このたび計らずも地域奉仕委員長の重責を担うことになりました。生涯学習サロンを是非とも成功させたいと存じますので会員皆様のバックアップをよろしくお願い申し上げます。

4. お客様紹介・ご挨拶

東京八王子南ロータリークラブ

会長 山下 正昭様



下山の反対の山下でございます。このたびの生涯学習サロンの開講式にお招きいただいておりますが、当日ロータリークラブの 2750 地区の地区大会があり、会長という立場でそちらに出席しなければなりませんので申し訳ございませんが欠席させていただきます。閉会式には出席するつもりですので宜しくお願い致します。

昨年全日本プロバス協議会の交流会に出席させていただき、そこで伺った話では関西には 100 名を超えるクラブがあるとのこと。私はこの八王子が一番と思っていたのですが、もっと大きなクラブがあると聞き驚きました。また八王子プロバスクラブの協力により日野地区に新たなプロバスクラブが誕生するというので、ロータリークラブと比べると羨

ましい状況であると存じます。

これからもますますのご発展と皆様のご健康をお祈りして挨拶にかえさせていただきます。

5. ハッピーコイン報告

下山会長から、25名の方からのハッピーコインの紹介がありました。(詳細は3~4頁)

6. パースデー報告

下山会長から、ハッピーコインの紹介に引き続き、1月のパースデー報告がなされました。

今月は、石井廣治、大野聖二、下田泰造、武田洋一郎、中野義光、米林伸恭、下山邦夫の7名の会員で、池田ときえ会員手作りのパースデーカードが贈られました。

7. 幹事報告 荒幹事

(1) 会員状況

会員総数 65名 休会 4名 実働 61名

(2) いよいよ2月より生涯学習サロンが始まります。申込書の発送も終わり、ぼつぼつ申込書が到着しております。会員各位の聴講希望の申し込みをお願い致します。

10. 各委員会報告

(1) 例会委員会 宮城委員長

本日の出席者は51名、出席率は83%です。

(2) 情報委員会 八木副委員長

会報への投稿をお願い致します。身近なこと、現在の活動状況や趣味など気軽に投稿してください。

(3) 会員委員会 米林副委員長

会員状況は退会者、平 文夫、石井 實、野末孝雄各会員の3名。休会者は北川博孝、田子 稔、瀨野幸雄、堀口 進会員の4名です。また、本日より大高秀夫会員が復帰されました。

以上で会員総数65、休会4、実働61名です。

(4) 研修委員会 報告事項なし。

(5) 地域奉仕委員会 土井俊雄委員長

・学習サロンへ、お知り合いの方を是非ともお誘いいただきますようお願いいたします。

・サロンの聴講希望テーマを申し込みください。参加費3000円は2月例会でいただきます。

(6) 交流担当 報告事項なし。

(7) 15周年実行委員会報告

事務局長 佐々木研吾会員

10月に瀨野実行委員長が病で倒れ、休会いたしておりますが、順調な回復を見ておりますので復帰されることと期待しております。その後の対応につきましては1月25日の実行委員会で検討すること

なっています。

記念事業の概要は次の通りです。

記念イベント

・2010年10月17日(日)

・市民会館

・第一部 講演「子ども・宇宙・未来」(仮題)

講師 宇宙航空研究開発機構技術参与・名誉教授 的川泰宣氏

・第二部 視覚障害者音楽家による演奏会

「君に届けたい 愛のコンサート」

記念式典・懇親会 同日 於エルシイ

記念誌発行

広報用 クラブ紹介パンフレット作成

東京日野プロバスクラブ創立の支援

橋本記念誌編集委員：「15周年記念誌に掲載する文章を選んで、お知らせ下さい」配布しました。

10周年記念誌で採用した企画を、15周年記念誌でも採用します。会員がプロバスだよりに寄稿したものや、サロンや卓話で話したもののなかから一つを選んで、B5版1頁(1200字程度)にアレンジして記念誌に掲載するという企画です。これまで出していない方、或いは出したが、新規に書き下ろしたい方はそれもよし、ということです。サロン、プロバスだより、卓話、新規のものなど、大筋をつかんで、個別に相談しながら進めたいと思います。提出は2月の例会日までをお願いいたします。なお、下調べしてありますので、ご相談いただければ、あなたはプロバスだより何号に投稿しているよ、などお知らせできます。もう一つのお願いは、文章は可能な限り、ワープロかパソコンで書いたものをメールで送っていただきたいと思います。私たち自身の手で整理してパソコンに打ち込んで、そのまま印刷できる状態にするからです。また、一度も情報を出していない方は、情報委員会から原稿出すよう連絡を受けていると思いますが、出してもらおうと記念誌にも対応し一石二鳥だと思っております。以上宜しくお願いいたします。

12. 同好会報告

(1) 麻雀同好会(澤渡 進会員)

12月に第1回を行いました。参加は12名

・会費(場所代)1000円+500円(景品代)・

1月は19日(火)、2月は10日(水)3月以降未定。13:00~。ピオラ

・現在登録者23名

(2) 歴史を肴に語ろう会(土井俊雄会員)

・第17回「歴史を肴に語ろう会」

日時:2月16日(火)14:00~16:30

場所:クリエートホール 第2会議室

テーマ:「平家物語の世界からこの時代に生きた人々の思いを探る」

講師:宮崎浩平会員

懇親会:17:30~ 日本海庄や

13. 卓話

(内容 4～7頁にて詳述)

14. プロバスソング斉唱

ピアノ伴奏：熊田真瑜美 会員

15. 閉会挨拶 杉山副会長

石垣先生本日はありがとうございました。非常にホットなテーマを解り易くお話しいただきました。質問のお答えにもありました様に域内の経済・文化が政治の世界を後押しして行き、世界は一つという理想に向かって進んでゆくという夢を見たいという気持ちで拝聴していました。有難うございました。

休憩

新年懇親会

進行司会 岩島 寛会員



開会あいさつ 下山会長

大変お待たせいたしました。今日はハッピーコインの紹介が長くなり時間が押してしまいました。

これからは用紙をもう少しコンパクトに変えますので要領よく書くようお願い致します。

では新年会を始めます。

乾杯 矢島前会長の音頭で乾杯

会食と余興

下田会員のバナナたたき売り・独楽の綱渡り



カラオケ熱唱



武下亜登子さんのシャンソン (熊田会員ご友人)

*キングレコード所属

*レパートリーはシャンソン、カンツォーネ、童謡



独唱：「ラ・ボエーム」「命かけて」「愛の賛歌」

アンコールは「ラストダンスは私と一緒に」

全員で「ろくでなし」を歌う。

閉会：杉山副会長 下山年度の門出にふさわしい懇親会になりましたとの挨拶があり、下田会員の音頭で手拍子そろえて景気よくお開きとなりました。

ハッピーコインご紹介

本年もよろしくお願い致します。(山下正昭)
新年おめでとうございます。

1月8日息子の誕生日

1月13日妻の誕生日 で1月は我が家のお目出度い月です。(竹内賢治)

昨年11月のゴルフ同好会のコンペで初優勝させて頂きました。優勝なんてここ数年なく、ほんとうに有難うございました。

そして今月は71歳の誕生日を迎えます。

正月に10歳の孫が「71年も生きてよかったね」といってくれ、思わずほろりとなりました。(米林伸恭)

無事お誕生日を迎えました。(石井廣治)

今月誕生日を迎えました。(大野聖二)

所属している団体の副理事として、40年の歴史の中で初めて長野県と交流ができました。発案者として大変うれしいです。(塩澤迪夫)

あけましておめでとう。プロバスクラブ充実した1年を感じつつ。Happy New Year coin

(下山邦夫)

今年もよろしく。

(浅川文夫)

私の趣味は、35年間の書道芸術：破体(はたい)です。昨年12月その書道の師 松本筑峯(まつもとちくほう)先生がご逝去されました。八王子発祥の“書芸術の先端を走る独創的な松本筑峯流破体書”の後継者の一員として、なお一層精進して参ります。

今般の出品展のご案内

第95回方円小品展 1月22日～24日

於：八王子市芸術文化会館(いちようホール)

第55回東洋書芸展 2月12日～19日

於：東京都美術館（上野公園内）

この作品“清雅高潔”は推薦 No. 1 に推挙された。ご覧いただければ幸甚に存じます。（阿部和也）

昨年12月5日「子どもからの人権メッセージ発表会」をパルテノン多摩に於いて実施いたしました。東京法務局八王子支局、西多摩支局管内の17市町村の小学生たちです。2千人を越す応募がありましたが各市町村代表者が発表しました。一人でも多くの人達に人権の大切さを啓はつしていくために、八王子、瑞穂、多摩と法務局、市町村人権擁護委員、学校等たいへんお世話になりました。おかげ様でよい会になりました。（広瀬智子、石井廣治）

私の最年長の孫が就職決定しました。大変うれしいことです。立派な保母さんになることを期待しています。（土井俊雄）

新しい年を家族と共に喜びと感謝で迎えることが出来ました。今年も あきず あせらず あきらめず シンプルに前進したいと思っています。

楽しい例会を心がけます。（宮城安子）

芽出度し！芽出度し！平成22年の新年会を迎えられた。今年も15周年に向かってプロバスライフを全員で楽しもう！（荒 正勝）

カードサギの折はご心配おかけしました。うまく逃げて実害なく終わりました。皆様くれぐれも ご注意を!!（立川富美代）

八王子フィルハーモニー合唱団のニューイヤーコンサートにたくさんお出で下さいまして有難うございます。華やかに終わりました。（立川富美代）

2度目のホールインワンを1月に出しているのので今月3度目のホールインワンを狙います。

（中野義光）

新年例会 本日の卓話を楽しみにしています。

（杉山友一）

あけましておめでとうございます。すがすがしい正月でした。（佐々木 正）

家族揃って健康で新春を迎えました。（川村 真）

ドイツ人と結婚した次女が孫（2才の女の子）を連れて今月19日に里帰りします。目の中に入れてもイタクナイ孫です。ジジ馬鹿のたわごとですが、日本人とドイツ人のハーフですから、それはそれはなかなか可愛い子です。もういくつ寝ると孫娘。早く来い来い孫娘。（岩島 寛）

箱根駅伝、母校の青山学院大健闘。正月の箱根駅伝に於いて青山学院大は8位に入賞。41年ぶりにシード（来春）を獲得いたしました。正月早々お目出たいことです。（宮崎浩平）

八王子フィルハーモニー合唱団ニューイヤーコンサートが1月11日無事に終わり、しかも招待した

人たちが異口同音「楽しかった」と言われ、40年振りの合唱団入団での心配もどこかに吹き飛び今はホッとすると同時に満足感に満たされています。

（岩島 寛）

私の家族の男系は、祖父が42才、父が39才、兄が25才、弟が7才で逝ってしまった。その中で一番私が長生きで、今年68才を迎えた。ハッピーです。もう少し欲を出して男の平均寿命まで頑張ってみよう。（下田泰造）

所属しています合唱団のニューイヤーコンサートが盛況のうちに終わり、ホッとしていますので年明けはハッピーでした。（有泉裕子）

Birthdayの月。74才。運転免許証の書き換えだが、昨年は高齢者講習を受け、まだまだ高得点でした。運転続けます。池田会員のBirthday Cardが楽しみです。（下山邦夫）

卓話

演題：「東アジア共同体構想をめぐる国際的動向と課題」

講師：石垣 康司氏

略歴：1959年、東北大学法学部卒業後に外務省に入省され、以降、約40年にわたって本省では国際連合局、アジア局などにおいて活躍され、海外勤務では米国、ビルマ、オーストラリア、カナダ、タイ、ブラジルなどの大使館勤務を経て、大使として、ドミニカ、レバノン、フィンランド各共和国の特命全権大使を歴任されました。

退官後は、7年にわたり東海大学法学部および法科大学院教授として、国際法、国際人権法の講義、研究、指導に当たってこられ、現在は外務省参与として、引き続き活躍しておられます。



本日は皆様の前でお話をさせていただく機会をいただきありがとうございます。

私は、大学卒業後外務省に入り、以後40年間外交の仕事に携わり、

退官後は、東海大学で教鞭をとってまいりましたが、外務省では、半分は本省で、半分は海外勤務でした。海外は実際住んだのが9カ国で兼務の国を含めると13カ国に及びました。勤務地は、米国、カナダ、ミャンマー、タイ、オーストラリアと、太平洋を取り巻く国が多く、他方、中南米とか中東、北欧など、遠くから日本を見る機会にも恵まれました。

これらの国々でロータリークラブとか、キワニスクラブといった団体からの要請で、日本、アジアのことなどをお話したりしたこともあり、皆様方

のようなクラブの活動には大変敬意を表しており、今回のお話をいただきました際、喜んでお引き受けした次第です。

本日は、東アジア共同体構想についてお手元の1ページにまとめた概要に沿って3点に絞って、できるだけわかりやすくお話しさせていただきたいと思います。

第一に、いまなぜ東アジア共同体が問題になり、論議されているのか。第二に、現実このような構想が実現する基盤があるのかといった現状について、第三は今後皆さんが新聞、テレビ等でニュースを聞く場合、どういった点に着目すればいいのか、今後の課題、注目点についてお話しします。

1. 東アジア共同体はいまなぜ問題となっているか

(1) 東アジア共同体構想自体は結構古い

最近、東アジア共同体の問題がしばしばニュースとして登場する大きなキッカケとなったのは、政権交代により鳩山首相がこれを日本外交の大きな柱として前面に打ち出したことからです。東アジアの地域で関係国が集まって協力を密にしていこうという考え方、アイデア自体は古くからあって、第二次大戦中日本が提唱した大東亜共栄圏といった構想も、その一つと言えるでしょう。

現在につながる最近の動きという、共同体のような提案の最初の契機は、1990年、マレーシアのマハティール首相が東アジアの経済協議体をつくらうという構想を提案したことから始まりましたが、この構想は、除外された米国の強い反発を受け、また台湾も対象に含まれていたため中国が冷淡な態度を示し、全体として根回しが十分なされなかったことから不首尾に終わりました。

次の転機は、1997年にアジア経済危機が発生し、その際日本が宮沢構想として3,000億円の緊急支援を発表したりしましたが、この時の地域関係諸国の協力が契機となって1997年に「ASEAN+3(日中韓)」の枠組みができました。その第一回首脳会議には橋本首相が出席し、以降毎年開催されて小淵首相、森首相をはじめ時の総理がかならず出席しています。

さらに、2002年小泉首相がシンガポールを訪問した際に行ったスピーチの中で、「東アジアでともに歩み、ともに進むコミュニティを構築」すべきであり、その中心的メンバーにはASEAN+3のほかにもオーストラリア、ニュージーランドをも入れるべきであるということを提唱しました。

そして2009年には民主党がマニフェストの中に東アジア共同体構想を折り込み、鳩山首相が外交上の柱として打ち出すことになったわけです。こ

の構想は、自公政権が特に国内向けには大きくは取り上げてこなかったのが、民主党としては、政権交代による新たな対外政策の目玉として打ち出したという内政面での考慮があったのではないかと考えています。

(2) 世界の他の地域での共同体の動向

地域共同体というのは、アジアだけの問題ではなく、アジア以外の地域でも早くから存在しています。最も早いのは、1951年に発足した米州機構です。OASといいますが、北米、中南米35カ国が参加しています。

アフリカでも1963年にアフリカ統一機構が設立され、その後アフリカ連合(AU)と改称され、参加国は53カ国に及んでいます。

しかし何といたっても地域機構で大きな模範的なモデル、成功例は欧州連合(EU)です。最初、1958年にその前身の欧州経済共同体(EEC)が発足した際は、ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、ルクセンブルグの6カ国でスタートしましたが、それが今や実に27カ国の大きな機構となっています。昨年12月1日からEUの新しい基本条約(リスボン条約)が発効して米国、日本をもしのぐ単一巨大市場となりました。EUは現在最も進んだ地域共同体機構といってよく、経済関係では完全に国家の障壁をなくしており、外交・司法警察など、個別国家に権限が残されている分野もありますが、経済関係を中心に権限をEUに委譲しており、27カ国はもはや主権国家ではなくなっているといっても過言ではありません。EUの決定方式も、各国1票の全会一致ではなく、人口を基礎として国別に異なる投票権による多数決方式で、一旦決定されると、反対した国も従わなければなりません。通貨も参加国間では、欧州中央銀行が発行するユーロを採用し、為替レートも各国は勝手には決められません。各国に権限がある外交・司法警察についても共同歩調をとることを申し合わせています。

なぜアジア地域が遅れたのかということ、要因はいろいろありますが、欧州と異なり、アジア諸国は、中国、北朝鮮、ベトナムといった複数政党を認めていない国があるなど国の政治体制がそれぞれ異なり、いわばバラバラである状況にあることに加えて、朝鮮半島38度線にみられるように冷戦構造がまだ残ったままとなっています。このような現実が東アジアにおいて共同体の構築がむずかしく、かつ遅れている大きな要因だと言えます。

2. 東アジア共同体が論議されるようになった背景

はなにか。その現状は

(1)東アジア諸国の貿易、投資など域内経済の緊密化

共同体を構築できる基盤ができてきているのかという点についてですが、先ず経済の実体面では近年大きな変化がみられるようになったということがあります。第一に東アジアの貿易構造は、各国とも、従来から米国の市場に大きく依存してきました。日本も同じで、以前は、よく3割が米国、3割が東南アジア、3割がその他といわれましたが、最近では東アジア諸国の域内貿易の比率が55.9パーセントと5割を超え、域内貿易は、EUにはまだちょっと及びませんが、米国、カナダ、メキシコ3国のNAFTA(北米自由貿易協定)の43パーセントを上回るまでに大きな変貌を遂げています。ですから、経済の実体面では東アジア諸国の相互依存度は急速に高まってきている状況にあるといえます。

次に、東アジア諸国間にはいわゆる機能的な協力関係も非常に進展してきています。エネルギー、食料、環境、テロ対策、海賊対策、地震・津波対策や防災、感染症対策はじめ幅広い協力関係ができてきています。通貨や金融協力面でも1997年のアジア経済危機を契機として、日本が先導的役割を果たしながら進展しており、このような地域協力について現在17の分野で、50近い協力枠組み、協議の場ができて上がっています。

さらに文化交流についても、アジア域内の文化は多様ですが、その中で共通性も多くあります。仏教、イスラム教などの宗教、ラオス、タイ、カンボジア、インドネシアなどの踊り、韓流ドラマ、最近ではアニメ、ポップ・カルチャーなど、いろいろな文化面での交流が深まっているという実態があります。

(2)政府間枠組みの発展

東アジア地域の重要な政府ベースの枠組みとしては、まず、ASEAN(東南アジア諸国連合)があります。ASEANは、最初インドネシア、タイ、マレーシア、フィリピン、シンガポールの5カ国で発足しましたが、その後ブルネイ、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマーの5カ国が加わって10カ国間で緊密な地域協力を行ってきています。

東アジア共同体を考える場合には、このASEANに日、中、韓の3国が加わった「ASEAN+3」の13カ国が基本的な枠組みとなっています。

これに加えて小泉提案のオーストラリアとニュージーランドのほかにインドもが入った「ASEAN+3+3」の16カ国の構想もあり、有力な案とされています。これら16カ国が参加する東アジアサミットが2005年より毎年ASEAN+3首脳会議に続けて開

催されるようになりました。日本、インドネシアなどは、民主主義の普遍的な価値を共有するこれら3カ国が加わった方が良い成果を生み出せるとの考え方をしています。

このほか、アジア太平洋地域には、APEC(アジア太平洋経済協力会議)という協力枠組みもありますが、これには一部の中南米諸国も加わっており、オーストラリア首相が、米国も加わったより少数の主要国でアジア太平洋地域共同体(APC)を構築したらどうかとの提案をしておりますが、まだ他の諸国からの支持を得るには至っていません。

3. 今後の課題、注目点は何か

(1)共同体構想は長期的課題

この構想は、1~2年、あるいは5年、または10年といった短・中期的期間で実現するような話ではなく、きわめて長期的な課題であるとの認識では各国とも一致しています。しからば今後どれだけ長い期間を必要とするかについては、誰もまだ見えないでいるというのが本当のところ。長期的に目標をどのあたりに据えて取り組んでいくこととするのかということが今後の大きな課題だと思えます。

次に、ASEAN 10カ国が強固なまとまりをみせていることから、東アジア全体の共同体を考える場合も1つの基本的軸になることは確かです。この10カ国は昨年、ASEAN憲章を発効させ、法人格を有した機構作りをはじめており、2015年までに経済、政治・安全保障、社会文化の三つの共同体を結成するとの方針の下、現在具体的な細目を詰めているところです。

(2)共同体構想推進の世話役と参加国の範囲

東アジア共同体構想の最有力な政府間枠組みである「ASEAN+3」のうち、日・中・韓の3国は、歴史的問題もからみ相互間の微妙な政治的立場の違いもあって、これまで共同体構想を推進する指導的立場につくのは難しいとの考え方から、その世話役的役割は、目下のところASEANが担っています。従って、ASEAN+3首脳会議や東アジアサミットも、ASEANの主催国で開催されてきました。日、中、韓3国も、現在いろいろな面で協力の度を深めており、日・中・韓3カ国サミットも、以前は、ASEANの首脳会議の際、ついでに短時間開かれていましたが、近年は、独立して福岡、北京で開催されるようになりました。

(3)共同体構成国の具体的範囲

一方、東アジア共同体の構成国の具体的な範囲については、ASEAN+3の13カ国までは確定しているものの、さらなる+3(オーストラリア、ニ

ューゼーランド、インド)が最終的に入るのかどうか、他方では、バングラディシュ、モンゴル等その他諸国にも参加の希望があるとみられますので、構成国の範囲が決定をみるまでには、いろいろと難しい問題があります。

(4) アジア共同体と米国との関係

東アジアといった場合、地理的には米国が入らないのは当然です。しかし一方で日本をはじめインドネシア、シンガポールなどは、米国は、実態的に安全保障その他の面でアジアで大きな役割を果たしてきているので、正規メンバーとしてでなくとも何らかの関わりを持ってもらうことが地域全体の安定に役立つとの考えを持っています。米国も、マハティール構想のときは反発し、その後ブッシュ政権は逆に無関心な態度をとり続けましたが、現在のオバマ大統領になって、東アジア地域諸国との多角的協力を重視する姿勢を打ち出し、ASEAN に対しても積極的な関心を示しております。ヒラリー・クリントン米国国務長官も、1月12日ハワイでの岡田外相との会談後に行った対アジア政策の演説の中で、東アジアサミットをも含め今後アジア太平洋地域の重要協議のあらゆる場面に参画していきたい旨明言しました。東アジア共同体構想の具体的形が次第に論議されていく中で米国のかかわりや役割が今後の重要な注目点であると考えております。

なお台湾、北朝鮮については、これまでのところ特に問題が表面化していることはありません。台湾はこれに参加したい意向はあっても、中国は、その別個の地域としての参加を認めないでしょうし、また北朝鮮は、現在までのところこの問題にとくに関心を見せていません。

(5) 共同体の中身

次に、共同体の中身をどのようなものとするかについては、東アジア地域での協力の範囲は、おのずと経済、文化が中心となり、EUのように国の主権を一部にせよ委譲するような政治的統合はまず無理でしょう。ASEAN の場合、他国の内政には不干渉の大原則を掲げており、何事を決める場合も国の大小に拘わらず1国1票による全会一致方式をとっています。従って加盟国間で紛争が生じても国際司法裁判所等他の機関に委ねざるをえません。

最後に、東アジア共同体の構築に向けて取り組んで行く場合、どうしても関係各国の利害、思惑は違いが生じますから、これらについてどう調整するのは大きな問題です。欧州では各国家の面積、人口が極端に異なるということはありません。

んが、東アジアの場合、10億人単位の中国、インドがありますし、共通基盤より相互の相違点が目立ちがちです。ASEAN 内でも ASEAN の事務局はインドネシアにあるため、マレーシアは、対抗的意識から東アジアサミットの事務局をマレーシアにもってきたいと考えたり、相互の綱引きがあるのもその一例です。

本年11月には横浜で APEC 首脳会議が開催されます。その際アジア・太平洋全体にかかわる問題がいろいろと取り上げられることとなりますので、オバマ大統領や胡錦濤主席をはじめこの地域の多数の政治指導者の考え方が示されると思います。本日お話いたしましたことも参考にされて、今後の動向に関心をお持ちいただければ幸いです。

ご静聴ありがとうございました。

(古川会員の質問)

東アジア共同体とロシアの関係は、

外交の場以外で、一民間人としてはただ傍観しているだけでしょうか。

A. この2点はいずれも重要な問題です。

まずロシアの立場ですが、ロシアは極東にも領域を有するとして東アジアサミットに大きな関心を寄せており、正式参加の希望を表明しています。EUも参加の希望を示していますが、ASEAN は、両者の希望について上手に取り扱っており、まだ結論を出していません。ASEAN は、東アジアサミットへの参加資格の基準というものを定めていて、(1) 東南アジア友好協力協定に署名すること、(2) ASEAN 等東アジア地域と実質的に深い関係があること、という2点ですが、ロシアは第2の条件を必ずしも満たしていないという意見が ASEAN 側の中にあるようです。

次に、政府ベース、つまりいわゆるファースト・トラックでの論議以外にも、東アジア地域の協力関係については、セカンドトラックとして民間経済界の交流、学識有識者、NGO 関係をはじめいろいろなレベルでの協力が進んでおり、今後、ビジネス界、学会、シンクタンク、市民社会各層で、東アジア地域の協力関係の緊密化に向けた動きがさらに活発になっていくと思います。

投稿

「歩く」東海七福神

宮田正実会員

主催する「東京歩こう会」の新春企画として、今回は東海七福神を歩いてみました。どうせ行くなら次回の参考にと、混雑している正月の三が日一月

三日（日）に歩いてきました。

まずは京急で新馬場駅へ行くためJRで品川駅へ、品川駅は東海道新幹線が止まり又京急で羽田へも行けるため、京急の乗換え口はふるさとや、海外から帰ってきた人、逆に東京から出る人であふれ帰っていました。

普通電車で二つ目、新馬場駅で下車、みんなぞろぞろ歩いていくのでその後をついていく、信号を渡るともうそこには品川神社（大黒天）の大鳥居が目の前です、鳥居の横には石の大黒天が微笑んでいました。急な石段を登ると左側に品川富士の登山口が、せっかくだからと正月早々富士登山に挑戦、急な階段を上って品川富士の山頂へ、山頂は以外に見晴らしがよく、品川の高層ビル郡が一望できました。

品川神社に参拝の後、社務所に立ち寄り御朱印帳を購入、七福神めぐりのスタート大黒天の御記帳と朱印をもらう、境内では正月らしくお神楽が奏でられ、参拝した人にはお神酒が配られていました。

次の目的地、養願寺（布袋尊）へは信号を渡り鳥居の正面の商店街をまっすぐ歩いていく、少し歩くと路地の入り口に目印の七福神の赤い旗が、路地を入ると養願寺が古い住宅街の中にポツリと立っている、なかなか歴史を感じさせるお寺である、布袋尊は本堂の横のお参りしやすい場所に置かれていました。お参りを済ませ御朱印をいただき、三番目の一心寺へ。

一心寺（寿老人）は前の養願寺から見える近さにあり、小さいながらもなかなか趣きのあるお寺である、御朱印帳を受付に出した後お参りへ、狭い境内に瞬く間にお参りの大行列が、何かと思って通りを見ると、七福神めぐりをするツアー客を乗せた観光バスが狭い道路（旧東海道）に二台も停車、このごろは手軽な観光として、七福神めぐりプラス豪華昼食バイキングなども人気があるようです。

四番目の荏原神社（恵比寿）は旧東海道を大森方面へ五分ほど歩いたところにあり、目黒川に掛かる赤い橋が目印になる、入り口には石の恵比寿が飾ってありましたが、この恵比寿は本物の釣竿を持っていました。社務所へ御朱印帳を預けたあと神社へ参拝、本殿の屋根の両脇から覗く見事な龍は一見の価値ありです。

五番目の品川寺（毘沙門天）へは赤い橋を渡り一旦旧東海道へ戻る、旧東海道を十五分ほど歩くと、目印の七福神の赤い旗が立ち並ぶ右側にありました。品川寺は入り口に青銅製の大きな江戸六地藏があり、又ここだけで七福神めぐりが出来る小さな石の七福神が置かれています、本堂でお参りと同時に御朱印をいただき、ついでにミニ七福神めぐりも終

わらせ、六番目の天祖諏訪神社へ。

天祖諏訪神社（福祿寿）は品川寺を出て左に、旧東海道の商店街を昔からの建物が多くあるな、などと町並みを見ながら二十分ぐらい歩くと、目印の赤い旗が、鳥居がありその奥が神社になっている、鳥居を抜け境内に入ると、社務所の前のお守り売り場と、中の数名の巫女さんたちが目に留まる。まずはお参りと、神社にお参りを済ませ、少しはなれた建物の中の木製の福祿寿の頭をなぜながら願い事をする、社務所で御朱印をもらい、七番目の磐井神社へ。

最後の磐井神社（弁財天）はこのコースの中でも一番はなれている。旧東海道からそれ、第一京浜へ、第一京浜の沿道は箱根駅伝を応援する人が大勢出ていました。箱根駅伝を歩きながら見物、最終ランナーが通りすぎたとたん、道路規制や見物規制などどんどん撤収を始めていく、瞬く間に撤収が終了する、と同時に何事も無かったかの用に人も車も流れていく、大森海岸駅をすぎ、大きな歩道橋を渡って少し行った所に磐井神社がありました。ここは今箱根駅伝が終わったばかりのためか、大勢の参拝客でにぎわっております、社務所に御朱印帳を預け、お神楽を聞きながら行列の後ろにつく、参拝を終えた後弁財天を探すと、少しはなれて見過ごしてしまいそうな池の中に弁財天が祭られていました。お参りを済ませ御朱印帳を受け取り、今回の東海道七福神めぐりは終了です。

<東海七福神めぐり御朱印帳と色紙>



編集後記：

今回は石垣講師の特別講演を紙面の許す限り掲載いたしました。

投稿も「七福神めぐり」、新春にふさわしい話題を有難うございました。

皆様の投稿をお待ちしています。